

特定非営利活動法人地域環境デザイン研究所 ecotone

2014 年度事業報告書

自 2014 年 4 月 1 日
至 2015 年 3 月 31 日

地域環境デザイン研究所 ecotone 事務所
(京都市中京区壬生槲ノ宮町 9-13 HAJIME BLD.)

1. 環境対策支援及び相談事業

<1-1：環境対策支援事業>

- 担当：太田（責任者）、出田（8/20 まで）、高野（8/21 から）
- 活動対象：主に京都市内全域のお祭り来場者・主催者・関係者・ボランティアスタッフ
- 事業収入額：25,704,806 円
- 実施内容：※別紙参照

<1-2：リユース食器レンタル>

- 担当：前田（責任者）、出田（8/20 まで）、高野（8/21 から）
- 活動対象
環境対策実施団体/個人・イベント主催者・会議やセミナーの主催者
地域のおまつり関係者・各区まちづくり推進課等
- 事業収入額：1,919,029 円
- 実施内容：※別紙参照

<1-3：祇園祭ごみゼロ大作戦実行委員会への参画とコーディネート>

- 担当：太田（責任者）、前田
- 事業収入額：4,511,000 円
- 実施内容：※別紙参照

2. 持続可能な社会づくりに資する調査・研究・情報事業

<2-1. 事業所向けごみ減量方策「リユース食器システムパッケージ」の開発と販売>

■担当：太田

■対象：一般市民

■事業収入額：1,492,854 円

■実施内容

これまで取り組んできた、お祭りやイベントでの環境対策支援事業の経験を活かし、新規事業として、事業所を対象とした日常的に利用出来るリユース食器システムを商品として開発することを目的に、京都市の「人材育成型ソーシャルビジネス等育成事業」の補助金を活用して事業を実施した。具体的には本パッケージの構築と、その導入／運用するにあたっての情報発信と事業所開拓・営業活動を展開する体制づくりを行った。

<2-2. 『星が降るとき 三・一一後の世界に生きる』の販売>

『星が降るとき 三・一一後の世界に生きる』

三・一一後の社会をどう捉え、いかに生きるか？

日本をはじめ世界各地の研究者、活動家、生活者、芸術家がそれぞれの思いを綴ったアンソロジー。日英両文併記。

・価 格：(本体価格) 2,000 円＋消費税

・サ イ ズ：小 B6 判 (ペーパーバック)

・ページ数：522p

■担当：前田、内藤

■対象：日本国内

■事業収入額：142,693 円

■実施内容

新規事業として理事である内藤大輔氏 執筆／編集の上記書籍の販売を実施した。2014 年度は 95 冊を販売した。

<2-3. 「エコ学区」への『リユース食器お試しセット』提供>

■担当：太田

■対象：京都市民

■事業収入額：960,000 円

■実施内容

2013 年度から市内全 222 学区展開となった「エコ学区」に宣言した学区に配布されるエコ活動に便利な物品として、リユース食器セットが採用されるに至った。2014 年度は 32 学区(2013 年度実績と同数)から申請があり提供 1 セット 3 万円で販売を実施。配布は 3 年間ということから、来年度以降も引き続き提供し、リユース食器の認知度向上に努める。

<2-5. 関西テレビ 廃ビデオテープのリサイクル支援活動>

■担当：太田

■事業収入額：1,994,920 円

■実施内容

関西テレビ（株）から排出される廃ビデオテープのリサイクルをコーディネート。